

銘柄略称:ACKG 証券コード:2498

平成27年9月期 決算説明会

平成27年11月27日 代表取締役社長 野崎 秀則







プレゼンテーション・アウトライン

I: ACKグループのご紹介

Ⅱ: 今回の決算説明会のポイント

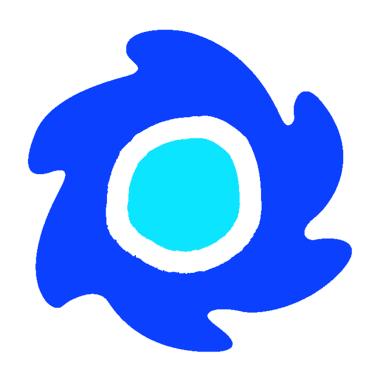
Ⅲ: 平成27年9月期 通期業績・成果ハイライト

Ⅳ: 平成28年9月期 通期業績見通し

V: 中期経営計画ACKG2013強化

VI: 質疑応答

I:ACKグループのご紹介





ACKグループのあゆみ

ACKグループは設立10年目を迎えました。

1957年	〇株式会社オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年~	〇オリコンサルグループを形成し、グループ経営を開始
2006年~	〇オリコンサルグループを継承し、株式会社ACKグループを設立 〇株式会社オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 〇グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画









ACKグループの提供サービス

海外・民間・国内公共の社会インフラを対象に、 企画・提案~計画・設計~建設・監理~運営・保全まで、 多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】ACKグループが対象とする社会インフラ(抜粋)



グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・ プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
㈱アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
㈱中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	ソフトウェア開発・販売、総務・経理、 人材マネジメント など

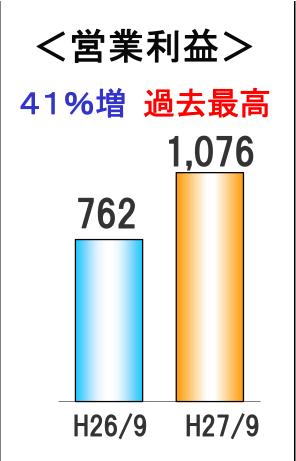




1-1

■売上高、営業利益が 2期連続で過去最高を達成

<売上高> 過去最高 8%增 37,599 34,848 H26/9 H27/9





H27/9

H26/9



1-2

■ACKグループ設立10年目を迎え、 記念配当を実施

前々期 (H25/9月期) 前期 (H26/9月期) 当期 (H27/9月期)

普通配当

7.5円

10.0円

10.0円

記念配当

_

_

2.0円

合 計

7.5円

/ 10.0円

12.0円



2

■平成28年9月期の業績は、中期経営計画 ACKG2013の目標達成に向けて着実に結果を出す

 当期 (H27/9)
 来期 (H28/9)
 増減

 売 上 高 37,599
 40,000
 1 +2,401 (+6.4%)

 営業利益
 1,076
 1,100
 1 + 24 (+2.2%)



3

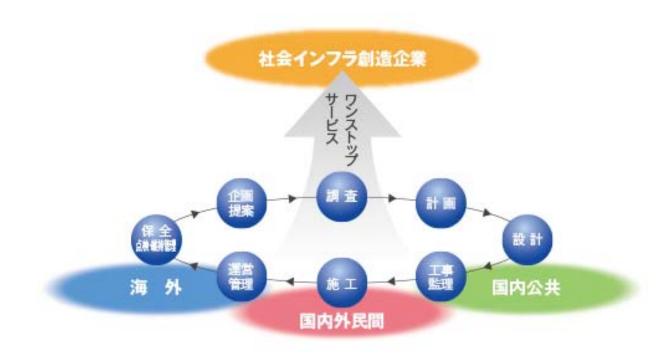
■『ACKG2013+強化』によって、安定的に成長 ■2020年に売上高500億円のグループ企業へ





皿:平成27年9月期 通期業績・成果ハイライト





(百万円)



(1)連結受注高

■前期比で約50億円(12.6%)増加

- > 受注高は、約50億円伸長し、過去最高
- > 期首の受注残高も大幅に増加、今後の売上に貢献

 前期 (H26/9)
 当期 (H27/9)
 增減
 計画値

 受注高
 39,552
 44,536
 1 + 4,984 (+12.6%)

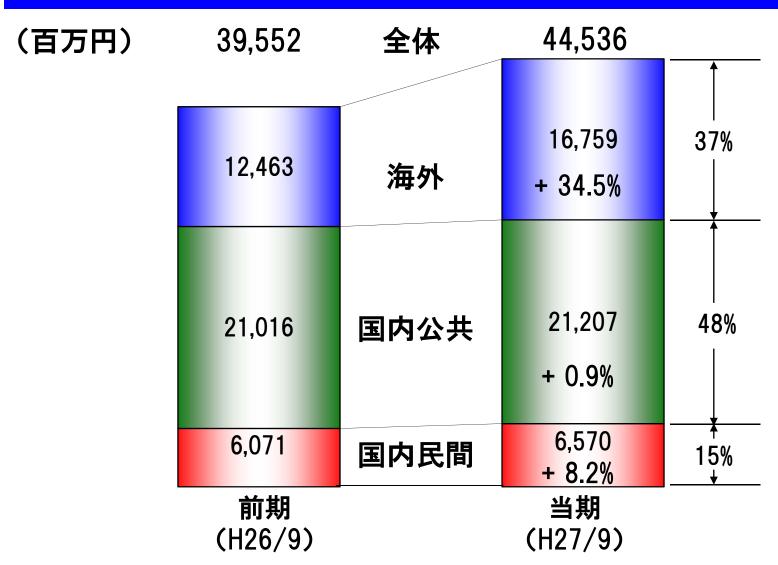
 受注残高
 44,171
 51,108
 1 + 6,937 (+15,7%)

※受注残高:受注済で生産中の契約総額



(2)連結受注高 3軸経営分野別

■海外が好調。来期以降の売上高増加に寄与





(3)連結売上高

■前期比約28億円(7.9%)増加

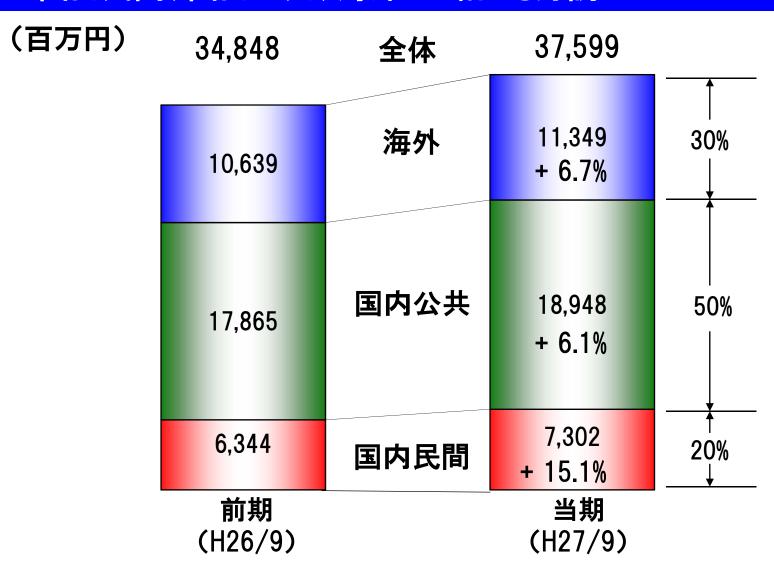
▶ 売上高は、2期連続で過去最高

前期 (H26/9) 当期 増減 計画値 売上高 34,848 37,599 1 +2,751 (+7.9%) 37,000



(4)連結売上高 3軸経営分野別

■国内民間、国内公共、海外の3軸とも好調





(5)連結損益

■営業利益、経常利益はいずれも増

> 営業利益、経常利益は、2期連続で過去最高

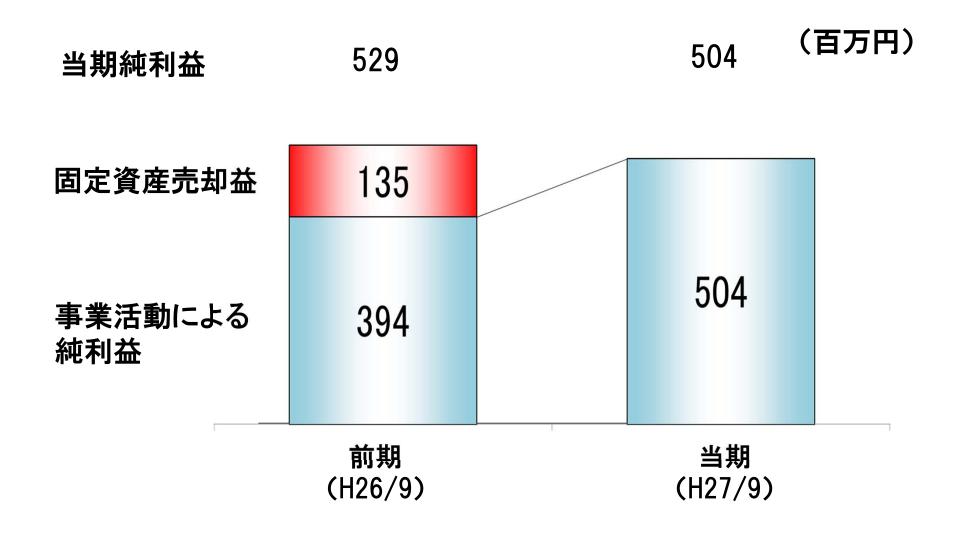
(百万円)

	前期 (H26/9)	当期 (H27/9)	増減	計画値
営業利益	762	1, 076	+ 314 (+41. 2%)	860
経常利益	832	1, 099	+ 267 (+32. 1%)	760
当期純利益	529	504	— 25 (-4. 7%)	300



(6)連結損益の解説(当期純利益)

■事業活動による純利益は着実に伸長



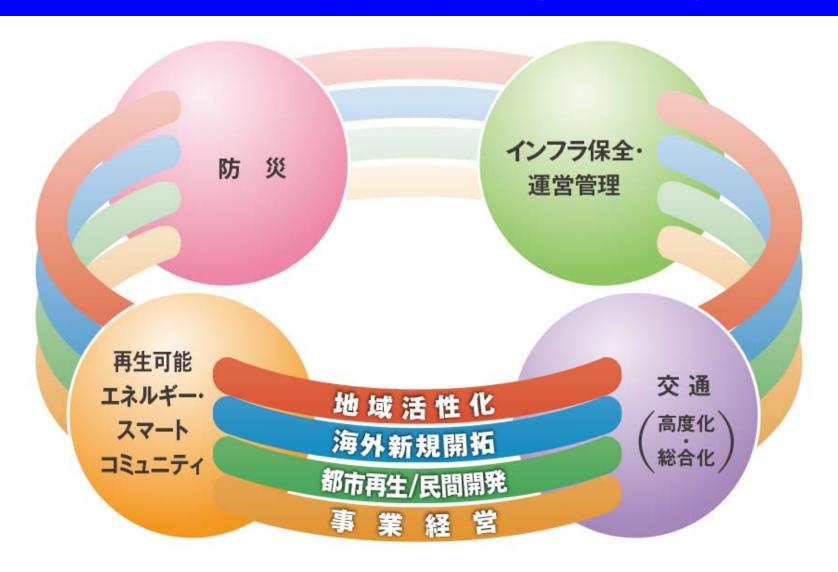






(1)事業拡大

■4つの個別事業と、4つの統合事業により新たな事業創造を推進





(2)事業拡大

- ■平成28年9月期は、74件以上の重点化プロジェクトを実施
- ■そのうち、10件はCSR版重点化プロジェクトとして実施
- ■重点化事業への投資は、約5億円/年

重点化事業		H28/9期 重点化PJ		(参考)過去の件数		
		ACKG	各社	H27/9期	H26/9期	H25/9期
1	インフラ保全・運営管理	4(1)	10	13	10	12
2	防災	3(1)	8	11	9	6
3	再生可能エネルキ゛ー/スマートコミュニティ	2	7	7	8	7
4	交 通(高度化・総合化)	4(2)	5	7	8	5
⑤	民間開発	1	6	5	6	4
6	海外新規開拓	4(2)	3	7	5	4
7	事業経営	3(1)	5	9	1	_
8	地域活性化	5(3)	2	2	3	_
9	その他	0	2	2	2	2
合 計		26(10)件	48件	60 <i>W</i>	50 #	40#
		74件以上		63件	52件	40件

()内はCSR版重点化プロジェクト件数



(3)重点化事業(インフラ保全)

現在までの取組み事例(抜粋)

■インフラ総点検システムの開発

- ・全国の地方自治体が抱える約56万橋の橋梁点検が義務化
- ■インフラ総点検システム(CheckNote Plus)を開発
- ・ 点検作業の省力化、効率化でインフラ保全事業に貢献
- ・MCPCアワード2015「プロバイダー部門」クラウド委員会特別賞





MCPCアワード2015

Research & Solution 株式会社リサーチ アンド ソリューション



(4)重点化事業(防災)

現在までの取組み事例(抜粋)

■防災シンポジウムへの協賛

- ・日本自治体危機管理学会主催、東京都後援のシンポジウム 「水災害時の避難のあり方について」に協賛
- ・当社グループ社員がパネルディスカッションのパネリストとして参加
- ・シンポジウムの結果については、同学会と共同で書籍化



パネリストとして参加した 当社グループ会社社員



明治大学青山佾特任教授による基調講演

水災害時の避難のあり方について

~首都東京に起こりうる大規模水害、高潮に備えて



日本自治体危機管理学会 株式会社オリエンタルコンサルタン

シンポップウムの書籍化





(5)重点化事業(再生可能エネルギー)

現在までの取組み事例(抜粋)

■小水力発電事業の開始(岐阜県中津川市)

- ・飛島建設㈱と共同し、100%民間出資による年間発電量84万kW の小水力発電事業に着手(出資比率50:50)
- 本事業の売電益を活用して、既存の農業用水路を改修・維持 (保全費用の地域負担ゼロ)
- 事業期間20年間。長期に亘る地域貢献



改修前



改修前後の開水路

改修後



改修前



改修後

改修前後の水路付帯設備





(6)重点化事業(交通(高度化・総合化))

現在までの取組み事例(抜粋)

■ドライバーへの情報提供サービス事業へ出資・参画

- モビリティ向け専用デジタルラジオチャンネル(アマネクチャンネル)の放送サービスを行う㈱アマネク・テレマティックデザインへ出資
- ・今後は、アマネクチャンネルを通じて、道の駅を中心とする地域拠点情報の配信サービス事業に参画



カーナビを使ったサービス配信



事業参画の会見の様子





(7)重点化事業(地域活性化)

現在までの取組み事例(抜粋)

■ユニバーサルデザイン事業への 取り組み強化

- 2016年障害者差別解消法の施行、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催
- ・(株)ミライロ(垣内俊哉代表)と業務提携
- •『バリアバリュー』を理念とする同社と共同





業務提携時の様子

■ICTを使った観光事業(福岡県うきは市)

- ビーコンセンサーからの発信情報をスマートフォンで受ける観光事業
- ・発信情報は、地域の観光情報、クーポン券など
- ・同事業は、観光情報の作成において地域の小 学生と共同







ビーコンから観光情報を取得



(8)重点化事業(海外新規開拓)

現在までの取組み事例(抜粋)

- ■大コロンボ圏外郭環状道路建設プロジェクト ◇スリランカ民主社会主義共和国
- ・コロンボ郊外の高速道路が開通(約9km)
- •FS(フィージビリティ・スタディ)調査・設計・施工監理 など1998年から17年に亘りに参画



開通した外郭環状道路の一部



■ネパール緊急復興支援事業

◇ネパール連邦民主共和国

- ・リスクアセス、仕組み作り、緊急復興など さまざまな地震対策に対応中
- ・復興と地震に強い国づくりを支援





ネパール地震



(9)外部評価【国内編】

◆社会貢献が認められて数多くの表彰獲得

■2015年度 グッドデザイン賞

- ・ 熊本市街地を流れる白川の河川改修事業
- ・防災と景観が両立した水辺・緑地空間を創出





整備後の白川

■「プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジブウム」優秀講演賞

- ・産学官から厳選された165編の論文が発表
- •「計画・設計」部門で優秀講演賞を受賞





■国際構造工学会で「Excellent Design Award」

- ・若手エンジニアを対象にした、橋梁架け替えの デザインコンペ
- ・世界各国の大学・企業が参画し、第2位





受賞したデザイン



(10)外部評価【国外編】

◆社会貢献が認められて数多くの表彰獲得

- ■第34回小沢海外功労賞
- ・中近東をはじめ、アジア、アフリカなどの道路建設プロジェクトに40年間貢献し、評価を受ける







■第11回JICA 理事長表彰

- カンボジア国ネアックルン橋梁建設事業
- ■モンゴル国 道路運輸大臣表彰
- ・新ウランバートル国際空港建設事業



JICA理事長表彰の受賞式

NHK総合地上デジタル 11月30日 22:00~22:48



NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」へ当社グループ社員が出演 「誰かが行かねば、道は開けない 土木技師・阿部玲子」









(1)平成28年9月期通期業績見通し

- ■事業拡大による売上高の増加
- ■中期経営計画ACKG2013の目標達成に向け、着実に利益を創出

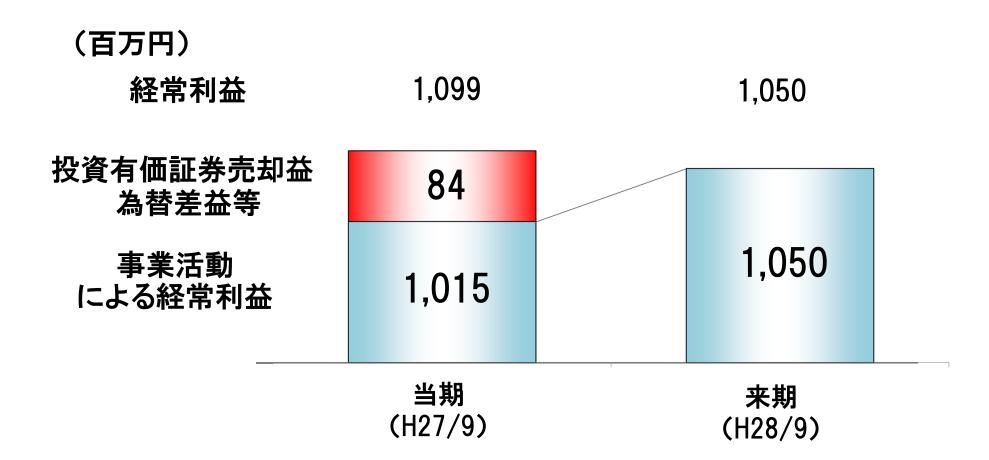
(百万円)

	当期 (H27/9)	来期 (H28/9)	増減
売 上 高	37, 599	40, 000	+2, 401 (+ 6. 4%)
営業利益	1, 076	1, 100	+ 24 (+ 2.2%)
経常利益	1, 099	1, 050	- 49 (- 4.6%)
当期純利益	504	550	+ 46 (+ 9.1%)



(2)平成28年9月期 利益計画(経常利益)

- ■来期は投資有価証券売却益や為替差益を計画せず
- ■事業活動による経常利益は着実に伸長





(3)平成28年9月期売上高の3軸内訳

■重点化事業による事業拡大により、3軸ともに売上高を増加

(百万円) 当期 来期 増減 (H27/9)(H28/9)40,000 1 +2,401 (+6,4%) 売上高 37, 599 10,639 12,600 + 761 (+ 7.2%) 海 外 (31%)(32%)17, 865 19, 700 内 訳 国内公共 (49%) (51%)7, 700 (19%) + 656 (+10, 3%) 6, 344 国内民間 (18%)(19%)

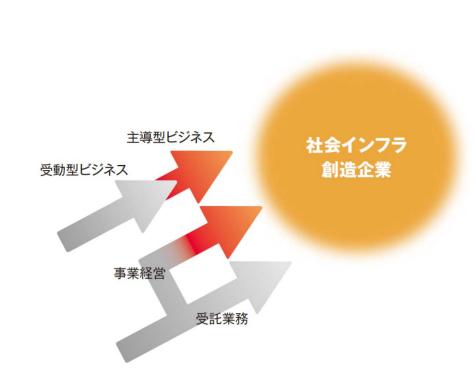
V:中期経営計画ACKG2013強化





(1)スローガン

社会インフラ創造企業 ~自らが社会を創造する担い手となる~



チェンジ [変 革]

受動型ビジネスから 主導型ビジネスへの転換

受動型ビジネス



主導型 ビジネス

チャレンジ **[挑戦]**

自らが投資し、

事業者としてインフラビジネスを推進

受託業務



事業経営



(2) 基本方針と強化方針

■基本方針と強化方針で、社会インフラ創造企業を目指す

社会インフラ創造企業

【基本方針】

- ■強みの活用
- ■事業創造
- ■育成と連携

4

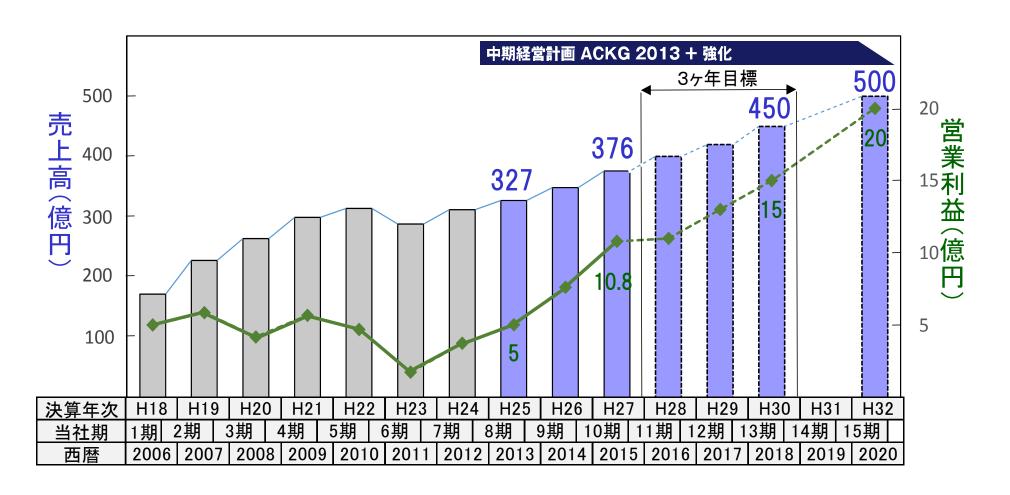
【強化方針】

- ■個の強化
- ■連携の強化
- ■3軸市場の競争力強化



(3)事業拡大

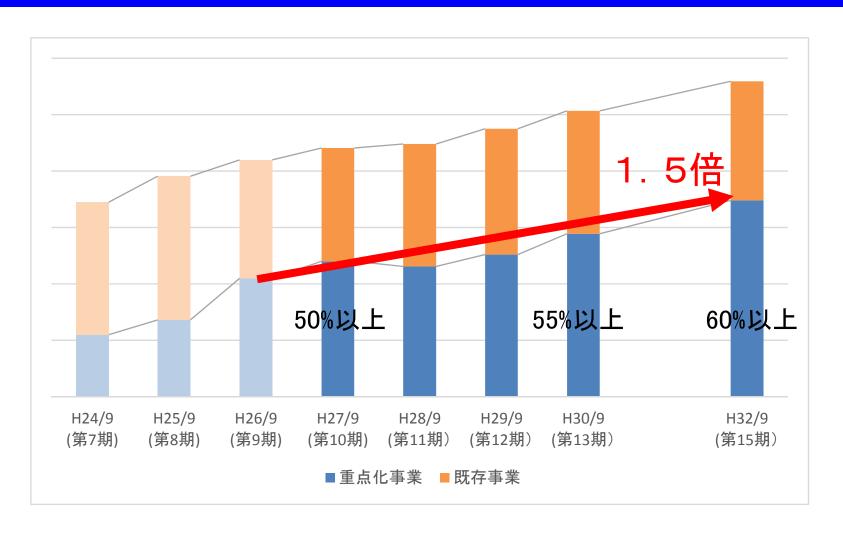
- ■3年後(平成30年9月期)の目標は、売上高450億円を目指す
- ■安定的成長を維持し、2020年ビジョンを達成





(4)重点化事業の拡大

- ■3年後(H30/9期)は、重点化事業を受注高全体の55%以上に拡大
- ■2020年(H32/9期)には、H26/9期の1.5倍に拡大





(5)人材の確保・育成

■人材の確保・育成を着実に推進

	2014年時点	増員数	2020年時点 の目標
社員数	1, 750人	500人	2, 250人
女性社員数	350人	100人	450人
グローバル人材数	250人	200人	450人
女性管理職数	10人	20人	30人
有資格者(技術士)数	670人	300人	970人
有資格者(博士)数	40人	40人	80人



感じてますか 未来の鼓動

『世界の人々の豊かなくらしと夢の創造』を目指し、今の業容にとらわれずサービス領域の無限大へ今後も





本資料および本説明会の説明には、当社(連結子会社を含む)の見通 し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、 当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来 における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。







お問い合せ先

JASDAQ

銘柄略称:ACKG

証券コード: 2498



〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: http://www.ack-g.com

(銘柄略称:ACKG/証券コード:2498)

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir-ackg@ack-g.com

本日はご多忙の中、 弊社の決算説明会にご来場いただき、 誠にありがとうございました。

